

事業構想大学院大学修士課程 単位認定対象講座  
独立行政法人国立青少年教育振興機構 自然体験活動指導者（NEALリーダー）資格取得

# 事業構想大学院大学 観光まちづくりプロデューサー養成プログラム

## 募集要項

### 開講期間

2023年9月23日（土）～11月26日（日）

### 会場&フィールドリサーチ先

事業構想大学院大学 福岡校  
福岡県八女市  
長崎県西海市  
沖縄県  
（一部、オンライン併用）

### 応募締切

第1次：2023年8月18日（金）  
第2次：2023年9月 1日（金）  
第3次：2023年9月 8日（金）  
第4次：2023年9月15日（金）



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学

2023.8.23版

# [ 1 ] 開講趣旨

## 事業構想力で持続可能な「観光まちづくり構想」を

わが国では数十年にわたって全国各地で地域活性、地方創生に取り組んでいるものの、期待以上の成果があげられていない地域が多いのが現状です。その要因のひとつに「構想力」が不足していることがあげられます。加えて地域が持続的に発展するためには、「稼ぐ仕組み」をつくることも重要です。なかでも、多様なステークホルダーが存在する地域においては、それらの人びとをつなぐプロデューサー人材の力量がきわめて重要です。

事業構想大学院大学では、2012年の開学以来、社会人を対象に事業構想人材を育成し、600名近い事業構想人材（事業構想修士）を輩出してきました。修了生がとりくむ事業構想のテーマのうち3～4割は、広義の観光、まちづくり構想に関連するものです。

本プログラムは、文部科学省の助成を得て、事業協働機関のNPO法人自然体験学校、大学間包括連携協定校である信州大学、観光まちづくり研究で実績のある小樽商科大学の協力のもとに開講します。特に、NPO法人自然体験学校は、長年にわたって沖縄、北海道をはじめ全国各地で「稼げる観光まちづくり」を実践してきた実績を有しています。

本プログラムは、事業構想大学院大学修士課程の単位認定プログラムとなっています。所定の要件を満たした方は、修士課程の単位（3単位）が付与され、修士課程に進学された際には、単位に算入することができます。本プログラムで、観光まちづくりプロデューサーとしての基礎を身につけ、さらに本格的に事業構想による観光まちづくりに取り組みたい方には、修士課程に進学する道を用意しています。

高い志と意欲をお持ちの方のご参加を心よりお待ちしております。



## [2] 本プログラムの位置づけ

### 「事業構想」×「観光まちづくり」＝「観光まちづくりプロデューサー」

事業構想大学院大学では、2024年度より、豊富なフィールドを有し、院生の多くが地域活性に関連する事業構想に取り組んでいる福岡校に「観光まちづくり」に特化した科目を開講します。いま、観光まちづくりプロデューサーとして求められているのは、「事業構想」と「観光まちづくり」を融合した構想力と実践力です。本プログラムの受講と修士課程の修了で、「観光まちづくりプロデューサー」人財として活躍することが可能となります。

2023年度

観光まちづくりプロデューサー養成プログラム  
2023年9月～11月

単位認定

2024～  
2025年度  
(2年間)

事業構想大学院大学修士課程  
2024年4月入学（2年間・修士課程）

事業構想

発着想  
構想案  
フィールドリサーチ  
構想計画  
コミュニケーション

演習  
事業構想計画書



まちづくり

地域活性  
観光まちづくり  
集客  
マーケティング  
ブランディング

ワークショップ  
フィールドワーク

学位認定

事業構想修士（MPD）

+

観光まちづくりプロデューサー

## [3] 開講概要

### 開講期間

2023年9月23日（土・祝）～11月26日（日）全15回（60時間）

### 会場

事業構想大学院大学 福岡校（JR,地下鉄「博多駅」直結）  
福岡県八女市（フィールドワーク）  
長崎県西海市（フィールドワーク/1泊2日）  
沖縄県（合宿/3泊4日）  
上記以外はオンラインで開講

### 主な受講対象

- 観光、まちづくりに興味・関心がある方
- 観光、まちづくりに関する事業構想に取り組みたい方
- 本学修士課程入学を検討している方
- 高等学校で「観光ビジネス」科目を担当（予定）の教員
- 体験活動指導者資格がまちづくり活動などで必要な方

### 応募資格

- ・社会人の方であれば、学歴、職歴、年齢等の資格はありません。
- ・居住地にかかわらず全国から参加可能です。

### 受講料

10万円（消費税込）※文部科学省の助成による

受講料には、フィールドワーク（八女日帰りの昼食、西海市（1泊2日）の宿泊費、沖縄合宿での宿泊費（3泊4日分、食事つき）、体験活動指導者認定制度による「体験活動指導者（NEALリーダー）」への認定登録料、テキスト代、救急蘇生法認定登録料、同テキスト代、保険料を含みます。  
集合場所までの交通費は含みません。飲物代等、現地で個人的経費を徴収する場合があります。  
※通常、体験活動指導者研修への受講のみで約20万円程度かかります。

募集人数 15名（最大28名）

### 単位認定、取得できる資格等

事業構想大学院大学修士課程単位認定（3単位）  
独立行政法人 国立青少年教育振興機構自然体験活動指導者（NEALリーダー）資格取得  
L.S.F.A.（Life Supporting First Aid）救急蘇生法講習修了認定証

## [4] カリキュラム概要

日程：2023年9月23日（土・祝）～11月26日（日）15日間（60時間）

会場：事業構想大学院大学福岡校、沖縄、福岡県八女市、長崎県西海市

	月日	曜日	時間	形式		担当教員	場所
1	9月23日	土・祝	10:30-18:00	集中講義	開講式・オリエンテーション	井手隆司	福岡校 & オンライン
					観光まちづくりと事業構想	若林宗男	
					デスティネーション経営論の最先端	内田純一 (小樽商科大学)	
					観光まちづくりの実践	若林伸一 (NPO法人自然体験学校)	
2	9月24日	日	終日	フィールドワーク	八女市フィールドワーク (福岡から貸切バス)	若林宗男 & 若林伸一	八女市 (日帰り)
3	10月2日	月	18:30-21:40	講義	観光まちづくりとは	若林伸一	オンライン
4	10月8日	日	終日	フィールドワーク	西海市フィールドワーク (福岡から貸切バス)	若林伸一 & 若林宗男	西海市 (宿泊)
5	10月9日	月・祝					
6	10月16日	月	18:30-21:40	講義	西海市の事例から考える	若林伸一	オンライン
7	10月23日	月	18:30-20:00		信州の観光まちづくり	藤尾宗太郎 (信州大学)	
			20:10-21:40		長崎の観光まちづくり	長尾和弘 (十八親和銀行)	
8	10月30日	月	18:30-21:40		離島の観光まちづくり	若林伸一	
9	11月6日	月	18:30-21:40		少子高齢化地域の観光まちづくり	若林伸一	
10	11月13日	月	18:30-21:40		観光まちづくりの発着想	若林伸一	
11	11月20日	月	18:30-21:40		観光まちづくりの構想案	若林伸一	
12	11月23日	木・祝	終日	沖縄合宿	体験指導者講習合宿	NPO法人 自然体験学校 各講師	沖縄 (宿泊)
13	11月24日	金					
14	11月25日	土・祝					
15	11月26日	日					

## [5] フィールドワーク（福岡県八女市）

福岡県八女（やめ）市は福岡県南部に位置し、熊本県境の古くからの城下町。町屋の保存と活用、特産の八女茶を生かした商品開発、ブランディング、地域活性化などに積極的に取り組んでいます。現場を実際に訪れて、観光まちづくりについて考えます。



写真：八女市ホームページより

## [5] フィールドワーク（福岡県八女市）

### 事例研究「NIPPONIA HOTEL 八女福島商家町」



伝統的な建物の美しさと現代的な快適性のある客室  
八女の発展を支えてきた「旧大坪茶舗」、丁寧に醸したお酒で町の人を喜ばせてきた「福島酒造」など、歴史のある建物。伝統的な佇まいや意匠はそのままに、最小限のリノベーションで現代的な快適さをプラスしました。まちに点在する客室は1棟に最大4室のみ。入口もそれぞれに離れており、分散型ホテルならではのプライベートな空間をお楽しみいただけます。  
(NIPPONIA HOTEL 八女福島商家町ホテル ホームページより)

### フィールドワークスケジュール（予定）

9月24日（日）

08:50 博多駅筑紫口集合

09:00 バス出発

10:30 八女着

11:00 八女中央大茶園を視察

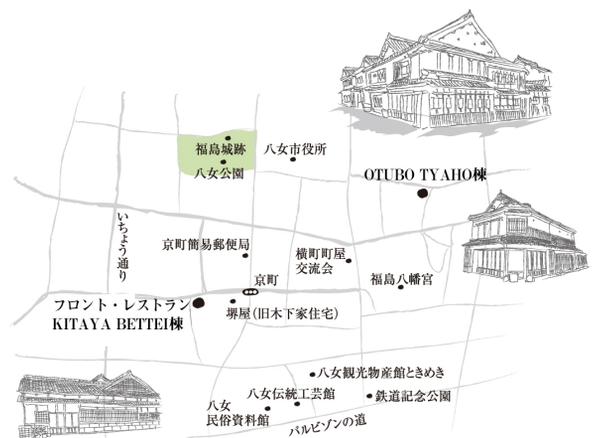
12:00 八女市福島地区で昼食

13:00 八女市福島地区の白壁の町並みを  
視察 NIPPONIA HOTEL、横町町家  
交流館、堺屋、うなぎの寝床などを見学

15:00 八女商工会議所会議室で講義

16:30 八女からバスで博多へ

18:00 博多駅筑紫口で解散



※スケジュールは全体のイメージで変更の可能性があります。

## [6] フィールドワーク（長崎県西海市）

長崎県西海市（さいかいし）は平成の大合併で5つの自治体が合併してできた、人口2.5万人のまち。1泊2日で訪問し、観光まちづくりの課題やアイデアを考えます。



西海市について・・・

県内の2大都市である長崎市と佐世保市の間に位置し、リアス式海岸などの複雑な地形を持った海岸線や、点在する大小さまざまな島、丘陵起伏が続く地形といった美しく優れた自然景観を有しており、西海国立公園、大村湾県立公園、西彼杵半島県立公園の3つの自然公園に指定されている。（西海市ホームページより）

## [6] フィールドワーク（長崎県西海市）

西海市フィールドワークスケジュール（予定）

### 10月8日（日）

09:50 博多駅筑紫口集合

10:00 バス出発（貸切バス）

10:20 福岡空港国際線ターミナル

10:30 バス出発（社内でフィールドワークのねらいとオリエンテーション）

12:30 西海市着

西海市内のフィールドワーク①（視察先などは調整中）

※宿泊

### 10月9日（月・祝）

西海市内のフィールドワーク②

夕方 福岡空港国際線ターミナル ～ 博多駅着



## [7] 体験指導者講習合宿（沖縄）

### 自走化できる「体験型旅行」の事業モデルを実体験する

沖縄での合宿研修では、沖縄で体験型修学旅行のうち10%のシェアを持つ、NPO法人自然体験学校による「体験活動指導者講習」を受講します。同理事長の若林伸一氏は、日本ではじめて「自然体験の事業化」に成功した、草分け的存在でもあります。ボランティアや補助金依存型の自然体験は国内でたくさん行われていますが、自立化、自走化しているのは極めて稀なことです。

そこにこそ、「観光まちづくり」「地域活性化」のヒントが隠されています。

現状は、若林伸一氏秘伝の「属人的ノウハウ」となっていますが、その一部を若林氏は2023年3月に「事業構想計画書」としてまとめあげています。本プログラムの受講者には、合宿の受講を通じて、体験型旅行のビジネスモデルや地域の巻き込み方について学ぶことを期待します。

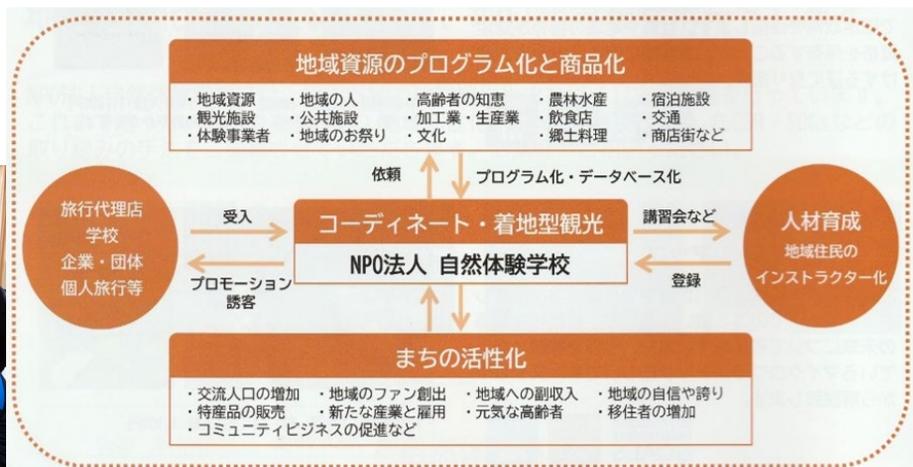
### 取得できる資格

本プログラムの主目的は資格取得ではありませんが、受講を通じて下記の資格が取得できます。

独立行政法人 国立青少年教育振興機構自然体験活動指導者（NEALリーダー）資格  
L.S.F.A.（Life Supporting First Aid）救急蘇生法講習修了認定証

### 体験活動指導者とは？

体験活動には、キャンプ、登山、ハイキング、カヤック、自然観察、農林漁業体験など、多様なフィールドで様々な活動があります。自然の中で感性を磨いたり、土地の伝統文化や食文化に触れたり、専門的な知識と技術をもって体験活動の普及や振興に貢献するのが「体験活動指導者」です。体験活動指導者として、様々なフィールドで自然の素晴らしさを伝えることができるとともに、全国の指導者が集う研修会や交流会に参加でき、活動団体や専門分野を超えたネットワークづくりや情報交換が可能です。（独立行政法人国立青少年教育振興機構 ホームページより）



## [7] 体験指導者講習合宿（沖縄）

1日目：11月23日（木・祝）

時間	内容
12:45	各自沖縄へ。会場受付（那覇市内のホテルを予定）
13:00	オリエンテーション アクティビティ/環境教育
14:30	講義グループワーク
18:30	講義終了（夕食後グループワーク）

2日目：11月24日（金）

時間	内容
9:00	救急蘇生法
12:00	昼食
13:00	救急蘇生法
16:00	講義「体験活動の安全対策について」他
17:00	グループワーク
18:30	講義終了（夕食後グループワーク）

3日目：11月25日（土）

時間	内容
9:00	講義「防災について」「救急蘇生法（応急手当）について」「保険について」「低体温症と熱中症」「指導者のための関連法令について」他
12:00	昼食
13:00	講義「青少年教育における体験活動」
15:00	グループワーク
18:30	講義終了（夕食後グループワーク）

4日目：11月26日（日）

時間	内容
9:00	プレゼンテーション グループでの実技
15:30	講評、他
16:00	閉講式
16:30	解散

全体のイメージですので、一部変更する場合があります。



## [ 8 ] 本学が育成する人材と本プログラムの対象

本学が育成する人材は主に下記の通りです。（アドミッション・ポリシーより）  
今回のプログラムでは特に「地域活性を志す人」を対象としています。もちろん複数の分野にまたがる方も歓迎です。

### 本学が育成する人材

新規事業担当者や携わりたい人

起業を目指す人

事業承継予定者

地域活性を志す人

企業の永続的发展を構想する経営者

今回のプログラムでは、特に

地域活性を志す人

を対象としています。

## [9] 事業構想とは？



### 事業構想は、スキルではなく、クリエイティブ。

スキルとは、一定の手順を踏めば一定の成果がでるものです。新たな事業をあるメソッドで実行すれば、必ず成功するというものでは決してありません。ある程度確率を高めることはできますが、それよりもアイデアが重要です。

本学は、授業を受ければ、何かできるようになるであろう、昇進や転職に有利になるであろう、という受け身の動機の方には向いていません。単に受け身で授業を聞いているのではなく、常に能動的、積極的にものごとを吸収して、アイデアを考えていく姿勢でなければ、事業構想は実現できません。

本気になれる、つまり、何かやってみたい、それが漠然としていても結構です。事業構想には、自分がやらなければいけないという使命感が重要です。

## [ 1 0 ] 主な担当講師



### 井手 隆司

教授

スカイマークエアラインズ元社長、会長

1976年西南学院大学文学部外国語学科英語専攻卒業し、キャセイパシフィック航空に入社、1989年9月ブリティッシュ・エアウェイズ社入社。1998年6月同社日本地区営業部長に就任。同年12月スカイマークエアラインズ代表取締役社長に就任。2003年1月同社取締役副会長、2009年5月取締役会長、翌年6月代表取締役会長に就任し、生産部門管掌・安全統括管理を担当。2015年12月エアアジアジャパン代表取締役会長に就任。2017年同社執行役会長を経て現職。同社において、就航の道筋をつける。一貫して航空業界で事業戦略、マーケティングに携わる。



### 若林 宗男

特任教授

内閣府地域活性化伝道師、絶景九州プロジェクト代表

国際基督教大学教養学部を卒業。株式会社東京12チャンネル（現テレビ東京）に入社。ニューヨーク支社を開設し支社長兼特派員。ワールドビジネスサテライトを企画、初代ニュースキャスターを担当。インターネット黎明期の1995年にテレビ東京のホームページを開設。2011年、福岡市に移住。地域社会と中小企業をサポートする若林ビジネスサポートを設立。八女市商工会議所に古民家ホテル開業を提案。2020年NIPPONIA HOTEL八女福島商家町が八女市福島地区に開業。



### 若林 伸一

NPO法人自然体験学校理事長 事業構想修士（MPD）

東京都出身。大学在学中に全国を旅行し、起業を決意。1年間の肉体労働で貯めた資金で北海道池田町の原野に建つ空き家を購入。1人でリニューアル工事をして、自然体験ができる民泊施設をオープンさせて人気に。以来、全国各地に住み込んで、観光まちづくり、集客の仕掛けづくり、空・水・フィールド・環境の自然体験を指導。沖縄南部の観光まちづくりに携わるうちに請われて本社を北海道から沖縄に移転。北海道と沖縄の二拠点生活を送る。コロナ前までは、沖縄で年間4万人以上の修学旅行の受入れをし、沖縄での修学旅行受け入れの10%を担う。日本各地で自然体験活動指導者や認定救急蘇生法の人材育成をしつつ、事業構想大学院大学福岡校に通い、2023年修了（事業構想修士）。観光庁観光地域プロデューサー、内閣府特定有人国境離島地域プロジェクト推進アドバイザー、総務省地域カアドバイザーなど。



### 内田 純一

小樽商科大学大学院商学研究科教授

北海道大学大学院経済学研究科現代経済経営専攻修士課程修了、北海道大学博士（国際広報メディア）論文博士。AFLAC日本社勤務、観光学高等研究センター准教授等を経て、2017年より現職。専門は、サービスマネジメント、観光経営、地域ブランド、プレイス・ブランディング、産学官連携、産業集積など。2016年12月 日本ベンチャー学会 第9回レフェリー賞。「観光まちづくりのマーケティング」（共著）「観光情報学入門」（共著）「地域イノベーション戦略—ブランディング・アプローチ」など著書、論文、TV出演等多数。



### 藤尾 宗太郎

信州大学 特任助教 産学官連携推進本部  
ユニバーシティ・エンゲージメント室 副室長

福岡県出身。2006年エプソン販売株式会社へ入社。首都圏で法人営業に従事。2012年に働きながら社会人大学院へ通い、2014年にMBAを修得(中央大学大学院戦略経営研究科マーケティング専攻)。2015年から親会社であるセイコーエプソンへ出向し国内外の販売管理・製品企画に従事。2018年に同社を退社し国立大学法人信州大学が主導する「信州100年企業創出プログラム」へ参加。ミッションである「株式会社タカノにおける新規事業創出(金属3Dプリンター)」を実現し新規部署を設立、責任者を務める。信州大学産学連携本部、ユニバーシティ・エンゲージメント室で地域活性・キャリア教育に携わる。



### 長尾和弘

十八親和銀行 地域振興部長  
iBankマーケティング マーケティング事業部  
マネージングディレクター

愛知県出身。佐世保育ち。長崎県立大学卒業後、親和銀行（現、十八親和銀行）入行。千々石支店長、佐々支店長等歴任。地域振興部で地域商社・自治体PPS設立支援・観光コンテンツ企画支援・学生ビジコンを立ち上げ。iBank地域共創部を兼務し、地域共創型オンラインスト『エンニチ』の長崎プロデューサーを務める。2022年事業構想大学院大学修士課程福岡校入学（現在2年次）

# [ 1 1 ] アドバイザリーボード

本講座は、担当講師に加えて、観光まちづくりに携わる有識者および本学修了生（卒業生）もアドバイザリーボード（事業構想大学院大学リカレント教育推進委員会委員）として、プログラムに参画しています。事業構想大学院大学では、様々なバックボーンをもった方とつながりを持ち、交流ができることも魅力のひとつです（敬称略・順不同。一部予定を含む）



## 高良剛寿

高良剛寿 株式会社茶花の里代表取締役。事業構想修士（MPD）  
福岡県久留米市で、造園設計・施工業と直売所とサツマイモ専門店imoyaみ乃う茶房を運営。雑木と山野草の季節感あふれる庭を数多く手掛ける。人と自然が共生する「みのうの森農園リゾート」を構想



## 吉野秋彦

タケマン代表取締役会長。事業構想修士（MPD）  
福岡県糸島市で国産メンマを製造販売。メンマの材料として地元・糸島の竹林を使用することにより、放置竹林問題を解決し、安全安心な国産メンマを全国の有名ラーメン店に供給。マツコ・デラックスのテレビ番組にもメンマの専門家として出演。



## 引地渉

かごしま こども食堂・地域食堂ネットワーク事務局 事業構想修士（MPD）  
鹿児島県生まれ。こども食堂の中間支援組織である「かごしま こども食堂・地域食堂ネットワーク」の設立、運営に携わる。南日本新聞社勤務。



## 安田憲保

安泰企画・安泰商事役社長 事業構想修士（MPD）  
鹿児島県生まれ。東京で企業勤務後、Uターンし事業承継。日本の食の価値を世界に広げる海外拠点のポップアップキッチン「WHITE CANVAS」構想をソウルで開設準備中。「赤塚学園専門学校グローバルビジネス科非常勤講師兼務。



## 倉橋篤

熊本郷土料理「青柳」代表取締役社長 事業構想修士（MPD）  
北海道生まれ。大手建設会社勤務を経て、妻の実家で熊本で70年以上の歴史がある「青柳」を事業承継。熊本震災での店舗全壊、コロナを乗り越えて黒字繁盛店へ。日本でいちばん大切にしたい会社大賞受賞。「旬結」技術を応用した事業構想で外食産業の働き方改革にも寄与。



## 伊藤雄大

株式会社JTB佐賀支店 グループリーダー 事業構想修士（MPD）  
学生時代から旅行好きでJTBに就職。旅行が団体旅行から個人旅行にシフトするなかで、いかにすれば、旅を通して、より特別な体験や知的探求心を満たすことができるかを構想。

## [12] 応募方法・応募締切

### 応募資格

- ・ 社会人の方であれば、学歴、職歴、年齢等の資格はありません。
- ・ 居住地にかかわらず全国から参加可能です。

### 応募手順

下記、STEP①とSTEP②を各回の応募期限までに行ってください。

#### STEP①

#### エントリーフォーム提出

下記エントリーフォームに必要事項を入力して登録してください。

エントリーフォーム <https://forms.office.com/r/RTHi0SfHQQ>



#### STEP②

#### 写真の提出

スマートフォンで撮影したもので結構ですので、添付ファイルにてお送りください。

- ・ ファイル名にご自身の氏名を明記してください。
- ・ 送付先メールアドレス recurrent@mpd.ac.jp

### 応募締切

第1次：2023年8月18日（金）

第2次：2023年9月 1日（金）

第3次：2023年9月 8日（金）

第4次：2023年9月15日（金）

### 審査結果通知および受講料の納入

応募完了された方には、順次、審査の上、審査結果をメールでお知らせします。合格された方には受講料納入のご案内メールをお送りします。9月15日（金）までに振込またはカード決済（Peypal）で納入いただけます。納入完了の確認をもって、手続完了となります。第4次に応募された方には、個別に納入期限をお知らせします。

#### 振込先

三菱UFJ銀行 青山支店 普通預金 0130323  
学校法人先端教育機構 ガク) センタンキョウイクキコウ

#### クレジットカード決済（Peypal）

※ホームページにリンクを掲載しています。

### 受講料に関する注意事項

受講申し込み後にやむを得ない事情によりキャンセルされる場合は、9月20日（水）18時までにご連絡ください。それ以降は納入された受講料は返金できません。フィールドワーク・合宿の一部または全部に参加できない場合も、受講料は返金できません。

## [13] 説明会

---

本プログラムの目的やカリキュラム内容などを、オンラインで説明します。  
また、その場で質問することもできます。お気軽にご参加ください。

### オンライン説明会

開催日程等はは本学ホームページをご覧ください。  
※説明会参加は、応募要件ではありません。参加しなくても応募できます。

### 説明会詳細

<https://www.mpd.ac.jp/events/tourismdevelopment2023/>



## [14] よくある質問 (FAQ)

Q. 観光やまちづくりに興味はありますが、これまで全く知識や経験がありませんが大丈夫でしょうか？

A. 全く問題ありません。

Q. 本プログラムを受講すると、大学院の入試で優遇されるのでしょうか？

A. 入学選考は、全受験者に対して同一条件で実施しますので、特別有利になることはありません。ただし、志望書や面接で本プログラムの受講やそこで得られたことについてアピールしていただくと結構です。

Q. 修士課程の単位認定とはどのようなもののでしょうか？

A. 本プログラムを修了した方には、本学修士課程の3単位分の単位を付与します。認定された単位は修了証書に記載され証明されます。本学所定の入学選考を経て入学された場合、修了所要単位（34単位以上）の一部として算入されます。

Q. 本プログラムを受講すると必ず大学院に進学する義務がありますか。

A. そのようなことはありません。

Q. 東京在住ですが、応募できますか？

A. 居住地に関係なく応募、受講できます。

Q. すべてオンラインで受講できますか？

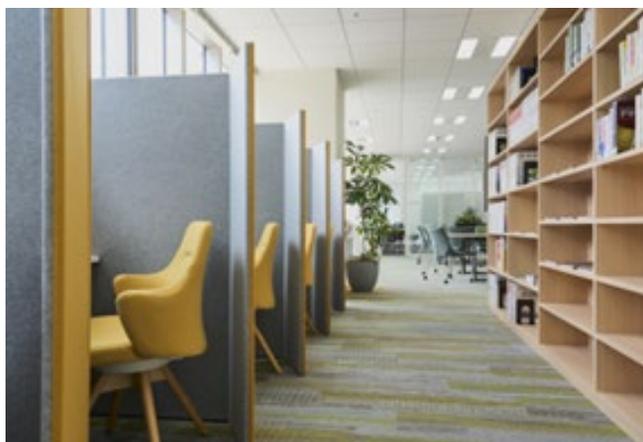
A. オンラインで受講できる回は、カリキュラム概要（P5）に「オンライン」と書いてある回です。フィールドワーク、合宿につきましては現地のみです。

Q. 欠席した場合は動画視聴できますか？

A. オンラインで実施した回につきましては、後日動画でフォローできます。

Q. 仕事の都合でフィールドワーク、合宿の一部に参加できなくなりました。

A. やむを得ず欠席の場合は早めにご連絡ください。その場合でも、受講料の一部または全部の返金はできませんのであらかじめご了承ください。



## [ 1 5 ] 大学院概要

### 事業構想を考え構築する人を育成する クリエイティビティを重視した 従来の枠を超えた 新しい社会人向け大学院です

設置法人	学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 社会構想大学院大学
研究科等 所在地	事業構想研究科 事業構想専攻 東京（南青山） 東京メトロ表参道駅1分 名古屋 名古屋駅直結 大 阪 JR大阪駅直結 福 岡 地下鉄博多駅直結 仙 台 JR仙台駅直結
開学 属機関	2012年4月 事業構想研究所 ・プロジェクト研究やセミナーの実施 事業構想大学院大学出版部 ・月刊「事業構想」、書籍の発刊



#### 修士課程（専門職学位課程）

社会人が働きながら2年間で学位が取得できます。

事業構想修士（MPD）

期間：2年間

開講：平日夜間、土曜昼間  
（週1～3日程度）

受講形態：ハイブリッドハイフレックス（教室＋オンライン）

入学定員：1学年120名（5校舎計）の少人数制

入学選考：一次：入学願書、志望書

二次：論述試験、面接

試験回：10月、12月、1月、2月

学費：入学金10万円、授業料年額160万円

#### 国の助成制度

個人応募の場合：厚生労働省教育訓練給付金（専門実践教育訓練）最大112万円

企業推薦の場合：厚労省人材開発支援助成金 最大300万円（9割助成）

教育ローン制度完備

## [ 1 6 ] 大学院への進学（本プログラム修了後）

本プログラム修了後、来年度に事業構想大学院大学修士課程（本科）に進学を検討の方は、別途修士課程の募集要項を参照してください。2024年度は新たに創設された国の助成制度（人への投資助成金）を活用して出願する方が多く見込まれていますので、早目の情報収集、説明会への参加等をお勧めします。観光まちづくりプロデューサー養成プログラムと修士課程を同時並行に応募（出願）することも可能です。

### 募集要項

<https://www.mpd.ac.jp/admissions/>

### 入試日程

入試回	出願締切日	書類提出・出願料納付期限	一次選考合否発表	二次選考期間	二次選考合否発表	入学手続期限
10月	10/2(月)	10/4(水)	10/6(金)	10/12(木)～ 10/15(日)	10/20(金)	11/1(水)
12月	12/4(月)	12/6(水)	12/8(金)	12/14(木)～ 12/17(日)	12/22(金)	1/5(金)
1月	1/15(月)	1/17(水)	1/19(金)	1/25(木)～ 1/28(日)	2/2(金)	2/14(水)
2月	2/13(火)	2/15(木)	2/16(金)	2/22(木)～ 2/25(日)	3/1(金)	3/13(水)

### 説明会

<https://www.mpd.ac.jp/events/20350101/>

### 国の助成制度

個人応募の場合：厚生労働省教育訓練給付金（専門実践教育訓練） **最大112万円**

<https://www.mpd.ac.jp/admissions/subsidy/>

企業推薦の場合：厚労省人材開発支援助成金 **最大300万円（9割助成）**

<https://www.mpd.ac.jp/admissions/development/>

### 教育ローン等

<https://www.mpd.ac.jp/admissions/scholarship/>



お問合せ先

事業構想大学院大学 リカレント教育事務局

〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-1  
JRJP博多ビル4階（JR,地下鉄「博多駅」博多口直結）  
TEL : 092-419-8411 Email : recurrent@mpd.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

本学が取得した個人情報は、問い合わせ対応、応募、選考、プログラム運営のために必要な範囲で、事務局および担当教員が適切に管理、運用します。また、大学のイベント、行事等の案内の送付等にも使用いたします。